

経営協議会議事録
(令和元年度第4回)

令和元年11月27日(水)
13時00分から14時40分まで
法人本部3階 第一会議室

出席者

議長	小山清人						
委員	相澤益男	青塚 晃	井上弓子	里見 進	里村正治		
	ストロナク・ブルース		中野光雄				
	安田弘法	久保田功	大場好弘	阿部宏慈	小島浩孝	根本建二	
副学長	出口 毅						
監事	渡辺 均	竹内千春					

欠席者

委員 吉村美栄子

議長から、本学経営協議会規程第6条第2項の会議開催要件を満たしている旨の報告があった。

- 1 経営協議会議事録(9月25日開催)の確認
議長から、前回9月25日開催の本会の議事録(案)について確認があり、議事録が了承された。
- 2 【協議】令和2年度国立大学法人山形大学予算編成方針(案)について
小島理事から、令和2年度の学内予算を編成するにあたっての考え方や方向性について審議願うものである旨の説明があった。
次いで、議長から、本件について諮られた結果、原案どおり了承された。

本件に関して、主な意見等は以下のとおり。

- ・授業料収入をキャンパス予算に組み入れる方策は、形式的であれ、教職員の意識改革に繋がる取り組みとして評価できる。
- ・外部資金の獲得を推進する中であって、評価を行う際に、獲得した外部資金に対していくら資金を投じたかも含めて分析・評価する必要がある。
- ・授業料収入は学生確保に繋がる事項であり、今後少子化が進む中であって、留意していく必要がある。

- 3 【報告】令和元年度財務状況及び資金運用状況について(上半期分)
小島理事から、議題に関して、運営資金の執行状況、外部資金の受入状況、資金残高及び運用状況等について報告があった。

本件に関して、主な意見等は以下のとおり。

- ・予算編成では、大学の全体構造の中で大学会計と外部資金会計を明確に示しているため、一貫性を保つために、実績や決算においても外部資金について、直接経費を含めた全体を示す構図にする必要がある。
- ・大学の評価においては、外部資金の獲得状況は重要な要素となってくるため、全体の予算構造を明確に示し、積極的にアピールしていけるようにすることが大切である。
- ・附属病院の予算については、運営費交付金の計上方法により、収支構成が解り難い状況となっているので整理する必要がある。
- ・資金運用において、「余裕資金」を「事業資金」と表記するのは誤解を生じるので表現方法を検討したほうがよい。

- 4 【報告】国立大学法人山形大学の平成30年度に係る業務の実績に関する評価結果について
久保田理事から、議題に関して、評価を受けている項目、今後の課題等について報告があった。
- 5 【報告】令和3年度大学院改組の構想について
安田理事から、議題に関して、現在の検討状況並びに文部科学省への事前相談内容及び新たな大学院共通教育の概要及び内容、実施方法等について報告があった。

本件に関して、主な意見等は以下のとおり。
 - ・組織を改革する際には、当該改組に伴う予算やカリキュラム、シラバス及び教員の意識など、教育と研究に与えるインパクトを分析、評価することが重要である。
- 6 【報告】台風第19号等による被害状況と授業料免除方針について
安田理事から、議題に関して、報告があった。
- 7 【報告】令和2年度山形大学推薦入試・社会人入試・AO入試等の志願状況について
大場理事から、議題に関して、報告があった。
- 8 【報告】国立大学法人山形大学職員就業規則等の一部改正について
阿部理事から、議題に関して、所要の改正を行う旨の報告があった。
- 9 【報告】山形大学附属幼稚園規程等の一部改正について
阿部理事から、議題に関して、所要の改正を行う旨の報告があった。
- 10 【報告】令和元年度労使協定の変更について
阿部理事から、議題に関して、報告があった。
- 11 【報告】職員の懲戒について
阿部理事から、議題に関して、報告があった。
なお、資料については、席上配付とし、会議終了後回収された。
- 12 【報告】平成30年度監事監査結果報告書のフォローアップについて
小山学長から、議題に関して、各担当理事における対応・進捗状況等を取りまとめ、監事に回答した旨の報告があった。

次回は、令和2年1月27日（月）に開催することとなった。